

教 科	学 年	科 目 名	単 位 数
情報表現	3 年	課題研究	3 単 位
学習目標	・ 社会に出たら、人前で話をする事が出てくるので、今の高校生に欠けている、人前で発表するという事を経験させ、自信を付けさせる ・ 人前で発表するという緊張感を持たせる ・ やり遂げたという達成感を感じてもらう		
月	学習項目（単元名）	学 習 内 容（ねらいも含む）	
4 月	・ 班編成（5～6 人） ・ リーダーを決定 ・ 班員の担当を決定	○ 班をⅠ組・Ⅱ組で分けずに編成し、それぞれの班で話を出し合い“班”・“チームワーク”という意味を理解させる。	
5 月	・ テーマ内容を決定 ・ テーマの目的・概要を決定 ・ 作業工程表の作成	○ 発表の方向性を決めることにより、資料収集をスムーズに行なわせ、その分、発表準備に時間をかける。	
6 月	・ 発表資料の収集 ・ 発表内容をパワーポイントで作成	○ 資料を様々な方向から収集する為、手分けをしながら情報を探し出させる。	
7 月		○ 各担当者のリーダーを中心に、収集と作成を行なう事で、テーマ内容をスムーズに行なえ、発表準備に時間をかける。	
8 月			
9 月（上旬）			
9 月（下旬）	・ 資料作成 ・ 作成のまとめに入る	○ 資料作成と平行して、発表者は、発表内容をもう 1 度、理解しながら原稿作成に入る。	
10 月	・ 原稿作成	○ 作成担当グループは作成のまとめに入る。	
11 月	・ 原稿作成 ・ リハーサル ・ 原稿編集・リハーサルを繰り返す	○ 原稿が出来上がったら班員内でリハーサルを行なう。その都度、発表の仕方をチェックし、原稿の編集とリハーサルを繰り返す。そうする事により、本番で上手に発表する事が出来る。	
	12 月	・ 発表本番	○ P D C A サイクルを活用する。
評価方法	・ 教室・実習時：学習意欲、学習態度、学習に取り組む姿勢を評価する。 ・ 発表時：発表する側の態度・聞く側の態度を評価する。 ・ 発表時に、情報コース全員と審査員を合わせて、約 90 名で各項目 5 段階の採点をし、優秀班を決定する。		
評価観点	・ 発表時、内容の意味・言葉の使い方・表現の仕方が理解出来ているか？ ・ 発表時、他の班の発表に興味を持ち、聞こうという姿勢で臨んでいるか？		
使用教科書・教材名： 30 時間でマスター パワーポイント（実教出版）			